

設のある「道の駅」

3. その他の施設等

- (1) 屋外テラスを、次のとおり計画する。
 - ① 地上又は1階の屋上に、まとまったスペースで50m²以上設ける。
 - ② レストランに併設して利用できるようにする。
 - ③ テーブル、椅子等を設ける。
- (2) 敷地内の駐車場は、地上に平面駐車とし、車椅子使用者用として2台分、サービス用として2台分を設ける。
- (3) 地上に、屋外休憩スペースを50m²以上設ける。
- (4) (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 敷地の周辺環境に配慮する。
 - ② 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - ③ 休憩・情報部門、店舗・料飲部門、温浴部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - ④ 24時間利用可能なエリアとそれ以外のエリアを明確にゾーニングし、夜間利用に配慮する。
 - ⑤ 勾配屋根の形状を活かした室内空間となるように計画する。
 - ⑥ 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - ③ 耐震性に配慮し、必要に応じて耐力壁等を設ける。
 - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② 浴室の給湯設備は、熱源機器と貯湯槽からなる中央給湯方式とする。
 - ③ エレベーターを適切に設ける。

要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積
(2) 2階平面図 1/200	① 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 24時間利用可能なエリアとそれ以外のエリアとの区分(破線で図示する)。 ロ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する)。 ハ. 設備シャフト(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置 ニ. 設備計画に応じた設備スペース ヒ. 断面図の切斷位置 ヘ. 屋外テラス ホ. 要求室の特記事項に記載されている仕器等
(3) 断面図 1/200	① 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 敷地内の駐車場 ハ. 屋外休憩スペース ニ. 通路、植栽等 ② 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ハ. 2階の屋根の形状(軒先、棟等を一点鎖線で図示する)。 ③ 切斷位置は、建築物の全体の立体構成及び勾配屋根の形状を活かした空間構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ④ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、主要な室名及び屋根の勾配を記入する。 ⑤ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① ゾーニング計画について工夫したこと
 - ② 休憩・情報スペース、レストラン及び浴室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - ③ 勾配屋根の形状を活かした室内空間とするために工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 構造上の特徴及び構造計画に特に配慮したこと
 - ② 勾配屋根の架構計画について、その特徴及び特に配慮したこと(図等により補足してもよい)
- (3) 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 浴室の給湯設備において、採用した熱源方式と採用した理由及び熱源機器の設置場所について配慮したこと
 - ② 「浴槽ろ過機」、「非常用発電機」及び「地域特産品売場の空調機」について、その設置場所を記入し、維持管理及び機器の更新について配慮したこと
- (4) 建築物の特徴(勾配屋根、吹抜け等)に対応した環境負荷低減について、配慮したことを具体的に記述する。なお、断面図等において補足してもよい。

空てき
水てき
電てき
消てき
排
EVてき

湯 中央給湯